

特集

第18回 通常総代会



表紙の写真 第18回 通常総代会（白山市鶴来総合文化会館クレイン）

6月21日(土)にJA白山「第18回 通常総代会」を開催しました。



JA 白山
(@530vzuic)



白山農業協同組合
(@ja.hakusan)



第18回 通常総代会



6月21日、白山市鶴来総合文化会館クレインにて第18回通常総代会を開催し、総代520名のうち499名が出席（うち305名は書面による出席）しました。

開会にあたり柄田俊樹組合長は冒頭挨拶において、能登半島地震、奥能登豪雨で被災した皆さまに改めて見舞いを申し上げ、復旧・復興に向け継続支援すると述べました。

また、米価をめぐる情勢について令和6年産米は、米卸業者による集荷競争過熱により米価は過去にない高水準で推移した中、反収向上に向けた土づくり資材の活用や2年3作体系の拡大、新たに有機栽培米「ひやくまん穀」に挑戦し初年度ながら全量1等米を確保できたことを報告しました。

経済事業では「地産地消」の拠点として10周年を迎えた「よらんかいねえ広場」が過去最高12億円を超える売上高を計上し「農業者所得の向上」と「地域の活性化」に大きく貢献したことや、組合員の高齢化に伴い、高齢者への日常支援として8月にスタートした移動販売事業の継続にあたり、積極的なご利用とご協力をお願いしました。

令和7年度は、1.有機栽培への取り組み・挑戦の継続・拡大、2.次世代との接点づくり・新たな繋がりを強化、3.加賀地区広域合併を見据えた持続可能な経営基盤の構築、この3点



ご来賓の皆さま



山下副組合長



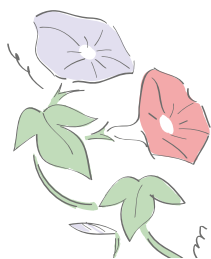
柄田組合長

を重点取り組みとして挙げ、地域と組合員に寄り添ったJAづくりに向け引続きの組合員・総代の皆さまへ理解と協力を呼びかけ挨拶を締めくくりました。

本総代会には、来賓に石川県農業協同組合中央会西利章専務理事、田村敏和白山市長、石川県議会議員横山隆也議員、車幸弘議員にご臨席賜り、祝辞のなかでJA白山の農業振興、地域貢献の取り組みに触れ、組合員とJAの益々の発展と活躍を願う激励を頂戴致しました。議案審議では議長に手取地区の田畑政行さんを選任し、令和6年度事業報告及び剰余金処分案、令和7年度事業計画の策定等を含む全6議案が審議され全て可決承認されました。

令和6年度決算の内容は事業総利益10億6159万円、経常利益1億3302万円、当期剰余金は9417万円です。

議長の大役を務めて頂いた田畑政行さん、ご出席いただいた総代の皆さまに感謝申し上げます。



議長 田畑政行さん



役員



吉田専務



前田常務

農業功労者表彰

農業功労賞

明島町

本田 正則

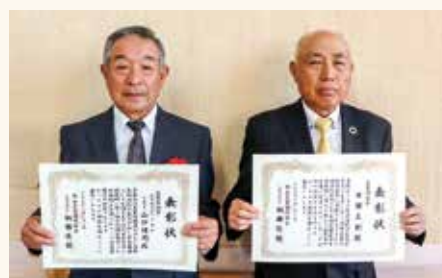
農業奨励賞

農事組合法人

下吉谷

代表理事

山口 博司



永年勤続職員表彰

30年

蝶屋支店

北村 裕子

大神支店

伊藤 岳史

農機課

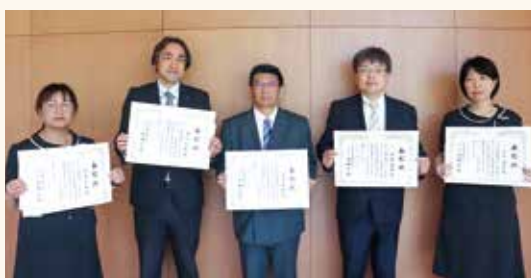
谷口 秀志

尾口SS

中川 仁志

白峰支店

高本 陽美



総代会地区別議案説明会等で寄せられたご質問とご意見

①販売事業

質問1 3カ年計画において営農方針を策定しているが、今後政府が米をもっと作って良いと方針を変えた場合、それに合わせてJAの計画も変更していくのか。米政策に係る重要な情報はできるだけ早く生産者へ流して欲しい。

回答1 小泉新農水大臣の就任記者会見で「令和9年度に向けた水田政策の在り方を検討していく中で生産調整の在り方等について議論を深めて参ります。」と発言しています。よって、当JAも情報収集、分析に努め重要な変更等については適宜情報発信するとともに、新しい農業政策の方向性を見極めながら、営農方針を必要に応じ期中でも変更し、速やかに生産者の皆様にお伝えして参ります。

質問2 JAは集荷した米を全量直接販売出来ないのか。

回答2 現在、当JAでは5万数千俵の集荷量の約半数を全農に販売委託し、半数を直接販売しております。直接販売を増やせば増やすほど人件費や代金回収等のコスト、リスクも増えるので、約5万俵の集荷量と現体制では現在のバランスが適切と考えており直売増は慎重に進めて参ります。

質問3 コメはどこにいったのか、日本全体で足りているのか、これら一連の顛末について説明してほしい。また、7年産の価格はどうなるのか。

回答3 令和のコメ騒動の原因については様々な要因が重なり、国も正確に把握できず現在調査中であることから、ご質問の一連の顛末について1JAがお答えすることは困難です。

7年産の価格については数か月前まで6年産以上になると予想されていましたが、新農水大臣が就任し備蓄米の大量放出等で不透明感が増しております。ただ、6年産の在庫が極めて少ないとすれば7年産への需要は大きく全農石川が8月上旬に発表予定の仮渡金については1俵2万円を大きく超えてほしいと思うところです。



質問4 農業経営について、補助金を受けながら2年3作を続けた方が良いのか、水稲作に戻した方が良いのか。

回答4 令和6年産のような米価が続けば全面積水稲が有利と思いますが、米価が下がれば2年3作のほうがり有利となります。7年産以降の米価が見通せない中、当面2年3作を継続する方が得策と考えます。

②購買事業

質問1 移動販売について、販売ルートはどのように決めているのか。

回答1 ルートについては、移動販売開始前に各地区の組合員から聞き取りを行い要望があった地域を対象に設定し、先日ルートの見直しをかけたところで6月より新ルートにて販売しています。今後、利用度や地域の方々からの要望によりルートを柔軟に変更していきます。

質問2 3カ年計画に㈱ジャコム石川とよらんかいねえ広場の店舗運営方式、移管時期等の協議を進めるとあるが、どういうことか。できるだけ直営を続けてほしい。

回答2 よらんかいねえ広場は開店後10年間順調に経営を継続してきましたが、今年9月、近隣に大規模な食品売り場を併設した大型ホームセンターが進出します。当然、大規模改装、品揃え強化等の競合



店対策を行います。想定以上に経営が厳しくなった場合に備え、今からJA系の食品スーパーを運営する㈱ジャコム石川に経営に関与するよう求めているものです。ご要望の通りできるだけJA直営を継続したいと考えますが、経営状況を見極め手遅れにならないよう適切に判断してまいります。

③信用事業

質問1 当年度は有価証券の損失処理を5、400万円行ったと説明されたが、昨年度も損失処理があったのではないかと、近年における有価証券の運用で損失ばかり計上しているのではないかと。

回答1 日銀の金融政策変更に伴う政策金利引上げの影響で、令和4年度に約5千万、令和5年度に約8千万、令和6年度において約5千万円の計約1億8千万円の売却損を計上し一連の損失処理を終えております。一方、過去10年間の有価証券運用益は総額で約6億4千万円を

超えており、トータルとしてJAの運営に寄与する資金運用を行ってこれたと思うところですが。

質問2 有価証券の運用について、評価損が拡大することはないか。

回答2 有価証券は、金利上昇により基準価格が下がり評価損が拡大しますが、当JAの保有している有価証券は全て国債であり、満期時には額面通りの金額を受け取れます。

質問3 農林中央金庫の赤字決算によるJAへの影響はあったのか。

回答3 農林中央金庫では令和7年度以降の黒字化を確実とするため、令和6年度は欧米国債等を中心とする低金利資産の売却を進め、戦略的に1・9兆円の赤字決算としました。この決算による当JAへの影響は現時点においてありません。

質問4 金融政策の変化によって大手メガバンクの決算状況や今後の見通しでは利益が2兆円ともなるといわれているが、JAの金融部門の収益が伸び悩む計画となっているのはなぜか。

回答4 大手メガバンクは国内外向貸出、国内外有価証券運用、企業向けコンサル等が主な収益であります。当JAは地域に根差した金融機関として、住宅ローン、マイカーローン、国債による債券運用のため、大手メガバンクと比較し、フィールドがあまりにも異なるため、そういった計画とはなりません。

理事会だより

第4回理事会

日時／令和7年6月18日(水)午後1時30分～

審議事項

- 第1号議案 令和6年度期末監事監査指摘事項に対する回答について
- 第2号議案 行政庁に提出する第18年度業務報告書の承認について
- 第3号議案 出資口数の変動について
- 全議案を審議し承認されました。

報告事項

- 1 令和7年5月末事業実績について
- 2 地区別議案説明会における主な意見質問に対する回答について
- 3 令和7年度監事監査計画について
- 4 会計監査人の再任について
- 5 JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの結果について
- 6 マネー・ロンダリング等の防止にかかる対応状況について



集まれ！ よらんっ子フェスタ 開催

6月22日、よらんかいねえ広場10周年を記念し「集まれ！よらんっ子フェスタ」を開催しました。ダンスステージやお買い物ごっこ、料理体験、直売所のお仕事体験、トウモロコシ迷路などお子様が楽しんでいただける企画を実施。遊びながら地域の農業に触れること、安全・安心な食を提供するよらんかいねえ広場の取り組みを地域の家族を中心に知ってもらう機会となりました。

ダンスステージにご出演いただいた「くらやま保育園」「FLAG」「栗津おすえべ花吹雪」の皆さん、ありがとうございました。



お知らせ

よらんかいねえ広場10周年祭

6月30日で10年目を迎えたよらんかいねえ広場では日頃の感謝の気持ちを込めて6月27日(金)～29日(日)の3日間10周年祭を開催しました。

この3日間で5,600人の来店と前年を上回る1,630万円の売上があり、天候にも恵まれ周年祭は大いに賑わいました。

店頭では毎年恒例となった提携先ファーマーズマーケット直送の桃とスイカが人気を集めたほか、今年は模擬店として青壮年部が(有)中農園のトウモロコシを使った焼きトウモロコシ、女性部は伝統食の手作り笹寿司等を販売しました。

28日(土)のマグロ解体ショーでは長崎県産の大きなマグロが職人によって次々柵に切り分けられ、太トロから赤身まで1パック1,000円の新鮮なマグロを求め長蛇の列となりました。10周年祭ではお買い上げ10,000円毎にお買物券や商品券が当たるハズレ無しレシートくじを開催しており、3日間盛況のうち幕を閉じました。



お米会員

カード

が始まりました

よらんかいねえ広場

よらんかいねえ広場で店頭精米をお買い上げの際、5キロごとにスタンプを1個押印します。6個スタンプ押印で次回購入時に500円割引券としてご利用できます。

Wチャンス

割引券として使用されたカードの中から抽選で県内特産品が当たります！

詳しくはよらんかいねえ広場の精米コーナーまでお尋ねください。



移動販売「JA白山じわもん便」お盆期間中の営業のご案内

=3

8/11(月・祝)	8/12(火)	8/13(水)	8/14(木)	8/15(金)	8/16(土)	8/17(日)
休業	通常運行	休業	休業	休業	休業	休業

「ホタル観察会」開催

講師：石川県ふれあい昆虫館学芸員
石川卓弥氏



7月5日、親子を対象に「JA白山ホタル観察会」を開催し、57名の親子が参加しました。

観察会の前には鳥越コミュニティセンターにて石川県ふれあい昆虫館学芸員・石川卓弥氏を講師にお迎えし、事前ワークショップを実施。ホタルの生態やその一生、ホタルが住める自然環境圏について、質問形式を交えスライド写真を使用して学習しました。参加した31名の子どもたちは熱心に聞き入りユーモアたっぷりの回答では、パパやママの笑いを取るなど終始和やかな勉強会となりました。

その後、綿ヶ滝親水公園へ移動し実際のホタル観察会を実施。初めてホタルを見るお子様も多く、里山の夜空を舞う幻想的な風景に参加者は写真を撮ったりホタルが光る様子をじっくり観察するなどして夏の夜を楽しみました。

クライマックスでは、石川講師と子ども達が採取したホタルを一齐に夜空に解放放ち参加者全員から「うわぁー」と歓声が響き渡りました。

JA白山は今後も体験学習会を通じて子ども達の「自己教育力」と「豊かな心の育成」を支援してまいります。



JA白山 有機農産物プロジェクト

有機栽培米への取り組み2年目となる令和7年度は子会社(有)アグリサポート白山の圃場2.0haで化学肥料と農薬を一切使用しない特別栽培米「ひやくまん穀」の作付けを行います。

今年も引き続き栽培実証試験を実施しながら全量1等、収穫目標120俵を目指します。

有機栽培米の栽培技術の実証内容

- ① 化学肥料・農薬を使用しない水稻栽培
- ② 乗用水田除草機を活用した本田内の雑草管理（3回実施）
- ③ くず大豆散布による酸素欠乏効果の雑草抑制検証
- ④ 微生物農薬による防除効果の検証
- ⑤ 収穫量、品質、食味、品種適正の検証

これらの実証試験をもとに有機栽培米の栽培マニュアル策定に取り組みます。（令和9年度目標）

これまでの作業実施状況

苗種蒔き	5月9日	ひやくまん穀 籾145g/箱播き
代かき	4月20日、5月5日、5月14日の3回実施	
田植え	5月22日	ひやくまん穀70株植え、有機アグレット674側条施肥
除草作業	6月16日	乗用水田除草機による除草作業1回目
	6月24日	乗用水田除草機による除草作業2回目
	7月1日	乗用水田除草機による除草作業3回目
くず大豆散布	7月7日	酸素欠乏による雑草抑制検証

一部圃場で欠株が見られるものの全体としては順調に生育が進んでいます。



JA白山では引き続き有機栽培米の取り組みの様子を「JAだより」を通じてお知らせします。

「食料安全保障」について

令和の米騒動に伴うコメの価格高騰は、政府備蓄米の放出により小売価格の低下を図ったものの、依然として高止まりが続いています。さらに外国産米を政府が無関税で輸入する「ミニマムアクセス米」を例年より前倒しで輸入するなど、国民に対する食料の安定供給が不安定な事態に陥っています。

今回は、わが国の食料安全保障について解説いたします。

世界的な人口増加等による食料需要の増大、気候変動による生産の減少、不安定な国際情勢による輸入停止の懸念など、近年食料の安定供給に関するリスクが高まっています。このため我が国としての食料安全保障を確立していくことが急務となっています。

このような中、食料安全保障の強化や持続可能な農業・農村の実現をめざし、農政の憲法である「食料・農業・農村基本法」が昨年五月に改正されましたが、基本法に



「東野ひできプロフィール」

全国農業者農政運動組織連盟顧問
道北なよろ農協会長理事
昭和四十六年北海道名寄市生まれ
政治信条…まっすぐな農政



国は改正基本法の初動五年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置づけており、その推進を図るには、既存予算とは別枠での思い切った規模の予算措置が必要であり、JAグループでは政府に強く要請しています。さらに、再生産に配慮した適正な価格形成、農業・農村の振興の実現に向けた関連政策の具体化、生産現場やJAの実状を踏まえた米政策の実現など、農政運動を通じて政府に強く主張してまいります。

農業者の願いを政策に反映させていくためにも、農業・JAに理解のある国会議員を一人でも多く誕生させることが求められます。



食料は人間の生命の維持に欠くことができないものであり、かつ、健康で充実した生活の基礎として重要なものであることに鑑み、将来にわたり、食料安全保障（良質な食料が合理的な価格で安定的に供給され、国民一人一人がこれを手でできる状態をいう）の確保が図られなければならない。（一部抜粋）

は次のように記載されています。

天空の棚田だより

～白山市・河原山から～・初夏

手取支店から県道178号線を車で10分ほど進むと、河原山の棚田群があります。令和4年3月には、農林水産省が主催となり優良な棚田を選定する「つなぐ棚田」ふるさとの誇りを未来へ」においてその景観や棚田を核とした地域振興の活動が認められ、「つなぐ棚田遺産」に認定されました。厳しい環境でも懸命に米作りに励む姿と四季の風景をご紹介します。



7月上旬の棚田の様子



棚田への道は、車が一台やっと通れる坂道を上がっていきます。

雨上がりは雲を見下ろすことができます。(標高 300m)



参加者の方に、よらんかいねえ広場のお買い物がとってもお得になるJAカードをご紹介しました。入会するなら今がチャンスです！

詳しくはJAだより6月号もしくは最寄りの支店窓口まで

後半は菌床きくらげを参加者の方に配布し、お世話のポイントを説明。2週間から4週間後には収穫できる予定です。



令和7年度第2回食×農×体験スクール「腸活クッキングと菌床きくらげ教室」開催

6月28日、JA白山本店において第2回食×農×体験スクール「腸活クッキングと菌床きくらげ教室」を開催し、21名が参加しました。前半はAコープマーク品を使った腸活料理

の試食会や、よらんかいねえ広場で購入できるきのこについて季節ごとに紹介しました。

6月30日にJA白山公式
ネットショップ「よらんかい
ねっと」が始まりました。
「安心・安全・新鮮」に
こだわったJA白山ならではの
おいしさを全国にお届けし
ます。たくさんの方にご利用
いただくため、今後取扱商品
を拡充していきます。
遠方のご家族、親戚の方々
にもぜひご紹介ください。

▼こちらのQRよりご覧ください



<https://jahakusan.base.shop>

お知らせ

JA白山 公式ネットショップ 始まりました

スマホから簡単に
購入できます

ストックしたい
お水やお茶あります

JA白山特選商品を
全国にお届けします



マイカーセンター



令和7年
未使用

スズキ キャリイトラック KC

車体色：ホワイト
走行距離：10km
車検：令和9年1月
エアコン/パワステ/5MT/フル装備/4WD/キーレスエントリー/衝突被害軽減/ラジオ/ふらつき警報機能/誤発進制御機能/車線逸脱警報機能/先行車発進お知らせ機能

車両価格 **122.3万円** 諸費用 13.2万円
支払総額 135.5万円

令和7年
未使用

ダイハツ ハイゼットトラック スタンダード

車体色：シルバー
走行距離：10km
車検：令和9年4月
MT/4WD/エアコン/パワステ/衝突被害軽減/ラジオ

車両価格 **113.0万円** 諸費用 13.7万円
支払総額 126.7万円

平成29年
中古車

スズキ クロスビー HV MX

車体色：ブラック3
走行距離：42,700km
車検：車検整備付
4WD/オートAC/プッシュスタート/キーフリーシステム/LEDヘッドライト/ETC/衝突被害軽減/純正ナビ/TV(フルセグ)/Bluetooth/バックカメラ/純正アルミホイール/車線逸脱警報機能/シートヒーター(フロント左右)/フォグランプ/AT

車両価格 **153.0万円** 諸費用 17.1万円
支払総額 170.1万円

平成30年
中古車

ダイハツ タント XリミテッドSA3

車体色：パール
走行距離：34,000km
車検：車検整備付
フル装備/衝突被害軽減/純正ナビ/TV(フルセグ)/全方位モニター/両側パワースライドドア/シートヒーター(運転席)

車両価格 **124.3万円** 諸費用 13.7万円
支払総額 138.0万円

※支払総額には、保険料、税金(法定費用含む)、リサイクル預託金相当額、登録等に伴う費用(検査・登録手続代行費用及び車庫証明手続代行費用)等、購入の際に必要な全ての費用が含まれています。※お客様の要望に基づくオプション等の費用は含まれていません。

〈お問い合わせ〉 JA白山マイカーセンター 272-0444



一部店舗における「昼休業」 または「午後休業」の実施について



地域の特性や店舗環境等に応じて、効率的な店舗運営による金融サービスの維持・向上を図りながら、働き方改革を推進していくことを目的に、一部店舗において「昼休業」または「午後休業」を実施させていただくことにしました。

ご利用の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昼休業を実施する店舗

蝶屋支店・大神支店

実施日 令和7年10月1日(水)より
窓口休業時間 午前11時30分～午後12時30分

お問い合わせ 蝶屋支店 076-278-2315 大神支店 076-272-0620

午後休業を実施する店舗

白峰支店

実施日 令和7年10月7日(火)より
窓口休業日 毎週火曜日 午前11時～午後5時

毎週火曜日午後は支店職員による訪問活動を実施いたします。

お問い合わせ 白峰支店 076-259-2003

その他

急件の場合は各店舗までご連絡ください。「昼休業」「午後休業」時間内でも対応いたします。

◆「つるぎ支店」「手取支店」は窓口営業時間の変更はございません。

私たちの (令和7年5月末実績参考)

組合員数	6,531名(団体含)
貯金残高	71,869百万円
貸出金残高	22,538百万円
長期共済保有高	1,675億円
購買品供給高	482百万円
販売品取扱高	14百万円

無料税務相談会

要予約

- 開催日時 令和7年7月25日(金) 午前9時～12時(基本30分単位)
令和7年8月26日(火)
 - 開催場所 JA 白山 本店
 - 顧問税理士 税理士 升田 佐吉(税理士法人アーマス)
 - お問い合わせ・お申込先 本店総務課 東藤
- TEL 272-3333 FAX 273-0690**
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp
お申込み順に受け付けております。

